



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 オカモト株式会社

コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 良幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	42,545	0.6	5,578	40.6	5,077	△4.4	3,768	△7.2
28年3月期第2四半期	42,288	13.3	3,966	107.7	5,309	120.2	4,061	148.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 2,078百万円 (△46.0%) 28年3月期第2四半期 3,850百万円 (194.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	38.36	—
28年3月期第2四半期	41.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	85,995	50,691	58.9
28年3月期	86,284	49,208	57.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 50,691百万円 28年3月期 49,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	△2.7	9,400	14.1	9,100	△5.8	6,500	28.3	66.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	101,996,839 株	28年3月期	104,996,839 株
29年3月期2Q	3,749,348 株	28年3月期	6,744,261 株
29年3月期2Q	98,250,086 株	28年3月期2Q	98,398,256 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式市場の低迷や円高の進行など金融市場に弱さがみられますが、個人消費は底堅い動きとなっております。中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、わが国の景気を下押しするリスクがあり、英国のEU離脱問題など、海外情勢が引き続き不透明な状況となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、生産効率の更なる向上に努めるとともに、積極的な営業活動を進めてまいりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は425億45百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は55億78百万円(前年同期比40.6%増)、経常利益は50億77百万円(前年同期比4.4%減)となりました。よって親会社株主に帰属する四半期純利益は37億68百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用・工業用フィルムは、拡販努力によるシェア拡大・新規受注により売上大幅増となりました。建材工業用フィルムは、北米向け車輻加飾フィルムの在庫調整により売上減となりました。多層フィルムは、電池用フィルムが堅調に推移し、食品用フィルムの需要が低調だったため売上横這いとなりました。農業用フィルムは、農家の需要が回復し堅調に推移し売上微増となりました。壁紙は、住宅着工件数が徐々に回復し、集合住宅向けを中心に売上増となりました。自動車内装材は、前年に引き続き取引先のグローバル展開による新規受注を獲得し売上大幅増となりました。フレキシブルコンテナは、需要が減少し売上減となりました。粘着テープは、住宅用ブチルテープの販売好調により売上微増となりました。工業用テープは、スマートフォン関連向けの需要が回復し、また車輻向けテープも堅調に推移し売上増となりました。食品衛生関連商品は、新規顧客の獲得により売上横這いとなりました。食品用脱水・吸水シートであるピチット製品は、北海道・東北地区における不漁の影響により売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は268億14百万円(前年同期比2.7%増)、セグメント利益は32億54百万円(前年同期比45.8%増)となりました。

② 生活用品

コンドームは、前年に引き続きオカモトゼロワンを中心に薄物が順調に推移し売上大幅増となりました。浣腸は、販促活動を積極的に行ったことにより、売上横這いとなりました。除湿剤は、当初例年より雨が少なかったものの、その後台風の発生も多く高温多湿の日が続いたため、売上微増となりました。カイロは、9月後半に気温の高い日が続いたため、小売店の導入が遅れております。手袋は、家庭用・産業用・医療用共に価格改定の影響で、売上減となりました。メディカル製品のうち滅菌器は、売上・販売台数共に前年並みとなりました。雨衣は、度重なる台風の影響により、付加価値の高い商品が好調で売上微増となりました。ブーツは、天候不順により、売上微減となりました。シューズは、秋物商品の消費減少の影響を受け、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は156億8百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益は30億67百万円(前年同期比31.4%増)となりました。

③ その他

その他の事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高(振替前)は17億23百万円(前年同期比3.8%減)、セグメント利益は85百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は859億95百万円で、前連結会計年度末と比べ2億89百万円減少しております。

流動資産は548億1百万円で、前連結会計年度末と比べ8億64百万円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が12億17百万円増加し、受取手形及び売掛金が3億40百万円減少したことによるものです。

固定資産は311億93百万円で、前連結会計年度末と比べ11億53百万円の減少となりました。これは主として、投資有価証券9億1百万円、有形固定資産1億80百万円が減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は353億3百万円で、前連結会計年度末と比べ17億72百万円減少しております。

流動負債は265億40百万円で、前連結会計年度末と比べ16億99百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金11億53百万円、未払法人税等4億69百万円が減少したことによるものです。

固定負債は87億63百万円で、前連結会計年度末と比べ73百万円減少しております。これは主として、繰延税金負債が2億6百万円減少し、長期借入金が1億円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は506億91百万円で、前連結会計年度末と比べ14億83百万円増加しております。これは主として、利益剰余金が21億58百万円増加し、その他有価証券評価差額金5億82百万円、自己株式10億15百万円、為替換算調整勘定11億58百万円が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成28年11月4日）公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,257	17,474
受取手形及び売掛金	24,945	24,604
商品及び製品	7,660	7,609
仕掛品	1,520	1,485
原材料及び貯蔵品	1,741	1,804
繰延税金資産	649	585
未収還付法人税等	167	41
その他	1,108	1,247
貸倒引当金	△112	△52
流動資産合計	53,937	54,801
固定資産		
有形固定資産	15,393	15,213
無形固定資産	183	147
投資その他の資産		
投資有価証券	16,183	15,282
繰延税金資産	85	81
その他	506	475
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	16,770	15,832
固定資産合計	32,347	31,193
資産合計	86,284	85,995

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,828	17,675
短期借入金	2,346	2,158
未払法人税等	1,697	1,228
賞与引当金	892	935
その他	4,475	4,542
流動負債合計	28,240	26,540
固定負債		
長期借入金	1,000	1,100
繰延税金負債	867	660
退職給付に係る負債	5,904	5,965
厚生年金基金解散損失引当金	117	117
その他	946	919
固定負債合計	8,836	8,763
負債合計	37,076	35,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	31,866	34,024
自己株式	△2,346	△1,330
株主資本合計	42,927	46,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,392	5,810
繰延ヘッジ損益	△95	△111
為替換算調整勘定	580	△578
退職給付に係る調整累計額	△597	△530
その他の包括利益累計額合計	6,280	4,590
純資産合計	49,208	50,691
負債純資産合計	86,284	85,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	42,288	42,545
売上原価	31,398	30,089
売上総利益	10,890	12,455
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,828	1,675
その他の販売費	1,577	1,582
給料及び賞与	1,473	1,531
賞与引当金繰入額	297	329
退職給付費用	70	91
その他の一般管理費	1,675	1,667
販売費及び一般管理費合計	6,924	6,877
営業利益	3,966	5,578
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	218	209
不動産賃貸料	200	199
為替差益	68	-
持分法による投資利益	915	33
その他	65	73
営業外収益合計	1,478	521
営業外費用		
支払利息	11	11
不動産賃貸費用	75	68
為替差損	-	909
その他	49	32
営業外費用合計	136	1,021
経常利益	5,309	5,077
特別損失		
固定資産除却損	7	1
特別損失合計	7	1
税金等調整前四半期純利益	5,301	5,076
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,239
法人税等調整額	29	68
法人税等合計	1,240	1,307
四半期純利益	4,061	3,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,061	3,768

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	4,061	3,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379	△536
繰延ヘッジ損益	2	△14
為替換算調整勘定	99	△1,090
退職給付に係る調整額	24	66
持分法適用会社に対する持分相当額	41	△114
その他の包括利益合計	△210	△1,690
四半期包括利益	3,850	2,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,850	2,078
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,301	5,076
減価償却費	1,072	1,011
のれん償却額	9	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	45
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	51	164
受取利息及び受取配当金	△228	△214
支払利息	11	11
為替差損益(△は益)	△1	39
持分法による投資損益(△は益)	△915	△33
固定資産除却損	7	1
売上債権の増減額(△は増加)	466	△407
たな卸資産の増減額(△は増加)	△985	△334
その他の資産の増減額(△は増加)	△36	39
仕入債務の増減額(△は減少)	△640	△401
その他の負債の増減額(△は減少)	319	359
その他	8	△33
小計	4,424	5,282
利息及び配当金の受取額	228	214
利息の支払額	△12	△11
法人税等の支払額	△1,014	△1,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,626	3,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,230	△1,620
定期預金の払戻による収入	1,220	1,720
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,976	△1,320
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	-
投資有価証券の取得による支出	△450	△8
その他	△167	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,603	△1,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	77	△69
長期借入れによる収入	-	100
長期借入金の返済による支出	-	△116
自己株式の取得による支出	△68	△5
配当金の支払額	△659	△613
その他	△14	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665	△719
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	399	1,317
現金及び現金同等物の期首残高	11,633	14,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,033	16,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,111	16,051	42,163	125	42,288	—	42,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	175	208	1,665	1,874	△1,874	—
計	26,144	16,227	42,372	1,791	44,163	△1,874	42,288
セグメント利益	2,232	2,335	4,567	99	4,667	△700	3,966

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△700百万円には、セグメント間取引消去23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△724百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,814	15,608	42,422	122	42,545	—	42,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	183	224	1,601	1,825	△1,825	—
計	26,855	15,791	42,647	1,723	44,370	△1,825	42,545
セグメント利益	3,254	3,067	6,322	85	6,407	△829	5,578

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△829百万円には、セグメント間取引消去23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△852百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。